

浜松市立図書館評価（令和7年度） 案

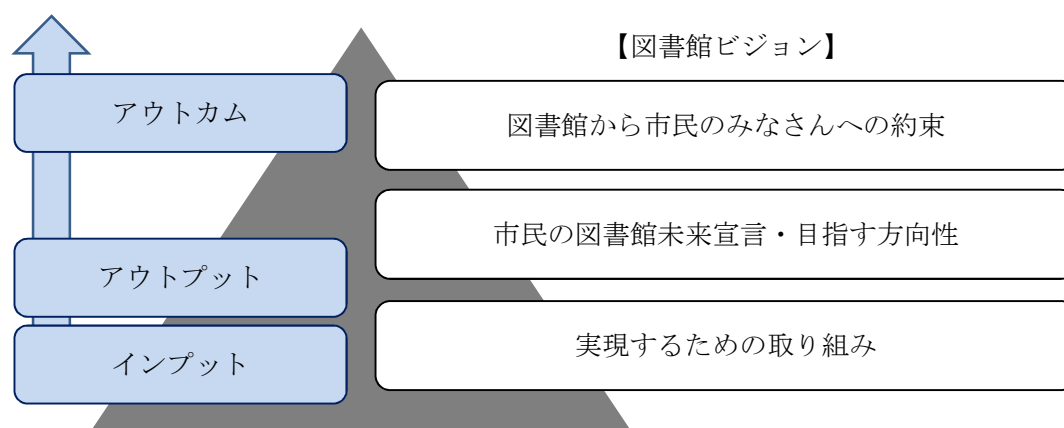
この評価は、平成30年10月に策定した「浜松市図書館ビジョン」に掲げている「図書館から市民のみなさんへの約束」の実現のために行うものです。

【図書館から市民のみなさんへの約束】

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

「図書館から市民のみなさんへの約束」実現のために、「市民の図書館未来宣言・目指す方向性」に沿って個別の事務事業を実施します。

事業を積み重ねることにより「図書館から市民のみなさんへの約束」を常に市民のみなさんが享受するとともに、図書館に対する満足度が向上することを目指します。



市民の図書館未来宣言評価シート（令和7年度）

市民の図書館未来宣言	【いかす】	外部評価【】 平均評価点【】	自己評価【A】 平均評価点【4.00】	平均評価点【】
------------	-------	-------------------	------------------------	---------

＜評価指標＞

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 図書館HPアクセス件数 (件)	1,208,100	1,310,969	108.51%	5	4.00
2 市民1人当たりの貸出冊・点数 (冊・点)	5.42	5.46	100.74%	5	
3 はままつ電子図書の貸出冊・点数 (冊・点)	17,200	19,532	113.56%	5	
4 外国語資料の貸出冊・点数 (冊・点)	19,900	18,275	91.83%	4	
5 障がい者向け資料の延べ利用者数 (人)	19,605	13,422	68.46%	1	
6 利用に関するアンケート調査における満足度「館内の居心地、座席数等に満足していますか？」 (点)	—	4.21	—	—	

＜目指す方向性・実践できた取組＞

- ICT(情報通信技術)を活用した図書館サービス
 - SNSを利用した広報
 - ⇒X(旧Twitter)発信回数 18館 合計 5,173件
 - Instagram発信回数 7館 合計 907件
 - 講座等のWeb参加
 - ⇒学校図書館補助員研修会1回、学校図書館補助員連絡協議会4回、郷土研究講座3回
- 貸出、返却サービスの利便性向上
 - 図書館アプリ等の活用による多様な方法での貸出サービス
 - ⇒アプリ、図書館ホームページのバーコード表示、非接触型のバーコードスキャナ、マイナンバーカードでの貸出など、利用者カードの多様化
- 多文化サービスの推進
 - 浜松国際交流協会など地域の多文化共生に資する団体との連携
 - ⇒いろいろな国のことばのおはなし会2回、外国人向け図書館ツアー3回、はままつ電子図書における多文化共生資料の収集と提供1,641点(全体の15.4%)
- 多様なニーズに対応した環境づくり
 - 読書バリアフリーに資する機器や資料の充実とPRの実施。
 - ⇒読書バリアフリー体験会1回、音訳ボランティア養成講座・点訳ボランティア養成講座の開催、録音図書(テープ・CD)・点字図書の貸出し

＜利用に関するアンケート調査における主な意見＞

主な意見
・ホームページから図書検索して、目当ての本を借りられることが助かっています。(はまゆう) ・予約サービスもあるため、近くの図書館にない本でも市内の他の図書館から取り寄せられる点が便利に感じる。(可新) ・英語多読コーナーが、ほかの図書館にないので英語学習の役に立っている。(中央)

＜自己評価＞

実績・成果に関する説明と考察
・Xの発信館数は前年度と同じであるが、Instagramの発信館数は3館増え7館となり、SNSの活用が拡大した。 ・昨年度と同一の図書館システムにより、図書館アプリ等の活用による多様な方法での貸出サービスは継続して実施している。 ・R7年度の図書館利用アプリのダウンロード数は4,793件、マイナンバーカード連携者数は817人、アプリとマイナンバーカードを利用したオンライン登録者数は676人増加している。全体の登録者数、利用者数からするとまだまだ少ないが、ほぼ毎日オンライン登録者があり、アプリを利用したバーコード表示による利用は着実に増え続けている。 ・「外国人向け図書館ツアー」の受入を継続して行った。残念ながら現時点では継続的な利用に繋がっていないが、公共施設を利用するきっかけのひとつとして意味はあると考える。 ・「読書バリアフリー」を理解してもらうためのコーナーを新設。マルチメディアデジ、LLブック、大活字本、点字つきさわる絵本、アプリと連携することで音声が入る絵本など、多様な資料を紹介した。

今後に向けた課題
・ 図書館利用アプリには利用のための機能は揃っているが、画面上の表記も含め使い勝手は必ずしも良いものではない。オンライン登録も利用者カードとの二重登録をしてしまう例が後を絶たず、後処理に手間がかかっている。システム自体の改修が必要なため直ちに改善できない部分も多いが、R10年度のシステム更新に向けて改善の検討を進めている。 ・ 外国語ボランティア(等)の安定的な確保が難しい。 ・ 「読書/バリアフリー」について、資料展示や体験会を通じ、理解を深めるという点では一定の成果があったが、実際の利用に繋げるための方法を模索中

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

図書館協議会による意見、課題
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和7年度）

市民の図書館未来宣言	【はぐくむ】	外部評価【】	自己評価【A】	平均評価点【】
		平均評価点【】	平均評価点【4.50】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 18歳以下の利用者カード有効登録率（％）	35.54%	35.68%	100.39%	5	4.50
2 学校図書館への資料貸出冊（冊・点）数	20,000	18,703	93.52%	4	
3 ボランティア（読み聞かせボランティア）受入人数（人）	176	179	101.70%	5	
4 はままつ電子図書館蔵（コンテンツ数）（冊・点）	11,500	10,636	92.49%	4	
5 利用に関するアンケート調査における満足度「子供向けのサービス（おはなし会、ブックスタート等）」（点）	—	4.20	—	—	
6 利用に関するアンケート調査における満足度「講演会、講座、企画・テーマ展示等に満足していますか？」（点）	—	3.93	—	—	

《目指す方向性・実践できた取組》

- 子供の読書環境の充実 ～『子供読書活動推進計画』の促進～
 - 主として小学生を対象とした、おすすめ図書リストの改訂等
⇒改訂リストの発行（R7.7月）、ブックスタート424回（1,812組・4,130人）
- 子育て支援サービスの充実
 - 保護者向け絵本講座をより参加しやすい方法で実施する。
⇒「絵本講座～おうちで読み聞かせを楽しもう～」3会場12回、「あかちゃんのための絵本講座」5会場8回
- ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催
 - 「シニアサービス」「医療・健康情報サービス」に関する講座の充実
⇒「シニアのための楽しい音読教室」2回、「高齢者向けおでかけおはなし会」6回、「いきいき健康講座」2回
- 多様な資料の収集・提供
 - 図書、雑誌、新聞、AV資料、電子図書における各分野の資料を新規に収集・提供
⇒R7年度受入資料数:82,751点（図書:65,423点、雑誌:16,594冊、AV資料:734点）、電子図書購入コンテンツ:2,688点（期限切れ更新分も含む）

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
・月1回工作講座を行い、とても良い取組だと思う。本を借りるきっかけとなり、本を楽しむことができます。（引佐） ・子供の読み聞かせ、読み聞かせの大切さの講座など楽しく参加できた。また講座中の託児サービスもあり、助かりました。（中央） ・ブックスタートが子どもの本に触れるいいきっかけとなり、利用して良かったと思いました。（都田）

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
・小学生を対象としたおすすめ図書リスト「小学生向け 読んでみませんか！」の改訂作業を終え、7月に発行することができた。複本の追加購入や資料展示を並行して行い、積極的に紹介の機会を設けた。 ・「絵本講座～おうちで読み聞かせを楽しもう～」について、申込不要の講座として定着させた。一方で「あかちゃんのための絵本講座」については全1回でポイントを絞った講話を行うため、これまで通り申込制で行った。講話の基本的な内容はどちらも同じだが、参加者の選択肢を増やし、より参加しやすい方法を設定した。 ・シニアサービスとして好評だった「音読教室」の開催回数を増やして実施した。2回とも早々に定員に達し、関心の高さが伺えた。図書館資料活用の機会にもなるため、今後も継続したい。 ・図書、雑誌、AV資料については、新たに82,751点（うち寄贈資料12,996点）の資料を受け入れ、利用者に提供した。また、西図書館では移転に合わせて新しい児童書を約5,000冊追加購入し、拡張された児童コーナーを充実させることができた。 電子図書については、各分野の資料2,688点を追加収集（期限切れ資料の更新を含む）し、計10,636点の資料を利用者に提供した。貸出回数は19,532回で月平均約1,628回となり、昨年度の約1,259回に比べて大きく増加している。新しい資料の増加により利用も促進されるものと考ええる。

今後に向けた課題
・ リストについては定期的な見直しが必要になるため、日ごろから選書の目を養うことが重要となる。また、選書に関しても全館のすり合わせが必要になる。 ・ 絵本講座について、参加しやすい方法を設定することで、潜在的な需要に対応できる部分が多い一方で、会場や時間の設定にはまだ検討の余地が含まれている。 ・ できるだけ幅広く各分野の資料を収集したが、多文化資料については英語以外の言語の資料をあまり増やせなかった。以前から課題となっている英語以外の言語の資料を多数収集する方法が確立できておらず、今後も方法を模索していきたい。 また、雑誌の休刊や刊行頻度変更が相次ぎ、年度を通しての継続的な購入が一部不安定になっているため、次年度購入雑誌検討の際には事前情報の収集に力を入れ、年度途中での変更にも対応することを見越した選定ができないか検討する。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

図書館協議会による意見、課題
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和7年度）

市民の図書館未来宣言	【つながる】	外部評価【】 平均評価点【】	自己評価【A】 平均評価点【4.25】	平均評価点【】
------------	--------	-------------------	------------------------	---------

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 ボランティア受入人数(障がい者サービスボランティアなど)	(人)	802	717	89.40%	3
2 「はままつ電子図書」行政資料の閲覧数	(件)	1,700	2,310	135.88%	5
3 デジタル化した地域資料のアクセス件数	(件)	1,369,100	1,330,090	97.15%	4
4 自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	(件)	370	397	107.30%	5
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「図書館職員による必要な資料や情報を見つけるお手伝い」	(点)	—	4.53	—	—

《目指す方向性・実践できた取組》

1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携 ・おでかけ講座を利用した地域への講師派遣 おでかけ講座、おでかけおはなし会を引き続き実施。 ⇒おでかけ絵本講座14回 おでかけおはなし会(園・小学校等)21回、おでかけおはなし回(特別支援学校)10回 2 課題解決支援サービスの充実 ・医療情報の充実と活用PR ⇒医療健康情報コーナーの設置7館、医療・健康に関する講座16回 ・調べ方案内やレファレンスの事例の整備 ⇒パスファインダーの更新、国立国会図書館運用のレファレンス協同データベースへの事例登録、地区館から検索可能な業務端末への事例登録を実施 3 政策立案支援サービスの推進 ・議会図書室との連携による、議員活動に役立つ資料の調査、提供 ⇒R7年度の図書注文依頼5回、納品図書97冊、テーマ展示の協力3回 4 地域・歴史資料の収集、保存、活用 ・所蔵資料やデジタルアーカイブを活用した講座・講演会・展示等行事の開催 ⇒郷土研究講座3回、WEB受講含む参加者延べ124人、展示7回 5 自治体、企業、各種団体との連携 ・庁内他課および外部団体との連携企画事業の充実 ⇒はままつ起業家カフェ、日本政策金融公庫等と連携した企画の実施 計397件
--

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
・いつも親切に調べていただいて読みたい本を探してくれてありがとうございます。(細江) ・デジタルアーカイブ、すばらしくて感動した。16mmの上映会にも参加したが、とても良かった。(城北) ・郷土資料のレファレンスで、地域についての調査を進めることができて良かった。(天竜)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
・おでかけ絵本講座を14回開催した。R7年度は特に、家庭の保護者向けよりも、保育士・幼稚園教諭や自宅等で預かり保育をする職員・スタッフ向けの依頼が多くあったため、地域への還元を期待する。 ・「レファレンス協同データベース」への事例登録を積極的に行った。R7年度末には運営元である国会図書館より事例登録数の多い図書館に与えられる「レファレンス協同データベース事業企画協力員賞」を授与された。 ・R6年度に引き続き、R7年度も議会図書室から資料の収集依頼を5回受けて97冊を収集、市議会議員の活動に協力した。また、議会図書室が提示するテーマに沿った図書館資料を集め、それぞれ2か月程度の期間の展示を3回行い、議会図書室利用者が閲覧できるようにした。その他、図書館システムを活用しての議会図書室の蔵書点検や除籍作業にも助言した。 ・R7年度は戦後80年という節目の年にあたるため、浜松市に甚大な被害をもたらした「浜松大空襲」に関する所蔵資料やデジタルアーカイブを活用し、展示や講座を開催した。いずれも反響が大きく、市民の郷土史への関心を高めることに貢献した。

今後に向けた課題

- ・ 地域連携に関しては、単に合同で行うというだけでなく、図書館や図書館資料を活かした協働・連携事業の企画が必要と考える。
- ・ レファレンス事例の登録・公開については引き続き進めていき、広く活用してもらうためのPRも行っていきたい。
- ・ 議会図書室側の業務の都合により、R8年度のテーマ展示は2回しかできなくなる予定。議会図書室側の事情もあるためやむを得ないが、蔵書点検や除籍作業も実施は未定の状態となっている。今後も議会図書室用資料の追加購入やテーマ展示への継続的な協力に加え、議員の利用者カード更新準備への協力も含め、議会図書室側担当者との連携強化に努める。
- ・ より魅力的なデジタルアーカイブの構築を目指し、計画的な資料のデジタル化作業を進めコンテンツの充実を図ると共に、積極的な活用も進めていきたい。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館協議会による意見、課題

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和7年度）

市民の図書館未来宣言	【つくる】	外部評価 【 】	自己評価 【A】	平均評価点 【 】
		平均評価点【 】	平均評価点【4.75】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 施設・設備の適切な整備・保全	(一)	4	4	4	4.75
2 職員1人当たりの研修参加回数	(回)	3.23	3.94	121.98%	
3 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等でのパブリシティ件数	(件)	52	60	115.38%	
4 利用者カード有効登録率	(%)	18.07%	18.55%	102.66%	
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「お近くの地域の図書館に親しみを感じますか？」	(点)	—	4.43	—	—

《目指す方向性・実践できた取組》

1 地域の実情に応じた図書館運営 ・ 図書館施設や設備で必要な修繕を速やかに実施 ⇒西図書館の移転オープン(R7.7月)、南陽図書館の大規模改修(R8.2月～) 2 図書館マネジメントの充実 ・ 市立図書館としての方向性のすり合わせ、情報共有 ⇒館長会議2回、医療・健康情報サービス担当者会1回、児童サービス担当者会2回、図書館システム内ネットワーク機能を用いた速やかな情報伝達 3 専門的職員の育成、確保 ・ 図書館職員としての専門性の向上を目的とした、課内研修の実施や外部研修への職員の参加 ⇒直営館：41件、参加延べ158人、指定管理館：288件 参加延べ1,027人 4 図書館プロモーションの充実 ・ 市内各館からのSNSを活用したサービス情報の発信や、広報誌によるイベントや新着図書情報の発信 ⇒Xで各種講座等の開催および実施状況を発信。Instagram活用館も2館増加(7館) 図書館だより発行、オープンデータへの情報提供
--

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
・ 郷土誌がきれいに並べられていて、訪れるたびに好奇心がくすぐられる。調べものの際にも助けられています。地元の理解と愛着が深まる場所として大変感謝しています。(水窪) ・ 移転して新しく明るくなり、居心地がよくなったのと、机と椅子が多くなったので、時々借りた本を図書館で読むようになった。(西) ・ 表紙が見えるように絵本が並べてあるので、こどもといっしょにワクワクしながら選んでいます。(雄踏)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
・ 令和7年7月に移転オープンした西図書館は、子育て世代が多い地域であり、一般向けエリアと児童向けエリアを分け、子育て世代向けの設備を充実させた。 ・ 市立図書館のサービス提供方法や考え方、方向性の意思疎通を図ることを目的として、館長会議をはじめ、各種担当者会を実施するとともに、図書館システムのネットワーク機能を活用した情報伝達を適時行った。 ・ 静岡県図書館協会等が主催する図書館職員向け研修会に参加した職員が講師となって、館内研修を実施することで、研修で得た知識や経験を他の職員へ伝承する機会を設けた。 ・ 中央図書館では、新たな利用者層を開拓するため、インスタグラムを開設し、図書館の情報発信を始めた。

今後に向けた課題

- ・ 大規模改修を実施する際には、地域の事情に応じた図書館となるよう、地域ニーズや利用者ニーズを捉えながら、施設整備を実施していく。
- ・ 近ごろ、障がいが疑われる利用者による利用者間トラブル、カスタマーハラスメントが疑われる事案が発生しているため、研修会の開催や図書館間の情報共有などにより、統一的な対応ができるよう対策を行う。
- ・ 引き続き、外部研修に積極的に参加するとともに、館内研修の開催によって、図書館で働く多くの職員が知識、技能を学ぶ機会をより多く作っていく。
- ・ インスタグラム等のSNSを活用した情報発信を積極的に行うことで、フォロワー数を更に増やしていく。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館協議会による意見、課題

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館から市民のみなさんへの約束

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

浜松市立図書館評価(令和7年度)

1 利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」

(満足=5、やや満足=4、ふつう=3、やや不満=2、不満=1とし、平均点を算出)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4.34	4.32	4.35

(点/5点満点)

令和7年度調査

調査期間: 令和7年8月31日(日)~9月19日(金)

調査対象: 図書館来館者及びWEBサイト利用者(自動車文庫利用者を含む)

調査方法: 図書館窓口で調査票を配布し、回収箱により回収
またはWEBサイトから回答

回答者数: 2,104人

2 利用に関するアンケート調査における自由記述より「図書館を利用して得られた成果」

《主な意見(図書館を利用して「できたこと」「解決したこと」「よかったこと」など)》

- ・ 歴史資料・話はここ10年でかなり変化し、過去の通説が俗説に変わるののがかなり多い。信じられる説の裏付けができ、とても助かっている。(中央)
- ・ 子どもと一緒に本を読んで、親子の時間を作ることができた。(城北)
- ・ 仕事の資料づくりに利用出来た。(駅前分室)
- ・ 学習室で勉強したお陰で英語検定2級と志望大学に合格できた。(西)
- ・ 若い時は本を読むことが出来なかったが、年を取って思う存分読書を楽しめている。(北)
- ・ 浜松市内どこからでも取り寄せてもらえるので、本当にありがたい。(南)
- ・ 旅日程・行程を調べたいときに、ネットよりも本の方が調べやすいので良かった。(舞阪)
- ・ 医療、OA等実用書を参考にしてその知識を学ぶことが出来た。(はまゆう)
- ・ 図書館で勉強をし、資格取得に向けた一歩を踏み出せた。(都田)
- ・ 子どもが小さい頃から、図書館を利用している。10才の今でも読書が習慣となっている。(浜北)
- ・ 子どもが本好きになった。(天竜)
- ・ リクエスト制度で本を購入していただいたことが数回あり、ありがたい。(南陽)
- ・ 大学のレポート提出などでよく利用した。資料取り寄せが便利で良い。(城北)
- ・ 生理用品が助かった。また、飲食スペースがありがたい。(中央)
- ・ 様々な本に触れられて本当に良かった。(春野)
- ・ 子どもが様々な本に親しむきっかけになった。自分自身もゆっくり出来る雰囲気の良い。(はまゆう)
- ・ 調べ学習、読書感想文、自由研究など課題の助けになった。(流通元町)
- ・ これまで聴かなかった音楽を知ることが出来た。(城北)
- ・ 本を購入して読んでいた時より、作家の方の幅が広がった。図書館に歩いていく事で体調管理にもつながっている。(南)
- ・ 絶版になっている菊づくりの本が読めたのが嬉しかった。(浜北)
- ・ 借りたい本を図書館員さんに相談したところ浜松市以外の所から借りることが出来た。(可新)
- ・ 家族の病気に関する資料を見つけ、声掛け等の参考にすることが出来た。(天竜)
- ・ 夏休みの孫達と、一緒に来て本を読んで、良い時間を過ごすことが出来た。(都田)
- ・ 捨ててしまった新聞の読みたかった記事が探せた事があり、助かった。(浜北)
- ・ 愛称標識について各自治体が出した冊子の存在を知り、これまで以上に街歩きが楽しくなった。(東)

《参考:「図書館から市民のみなさんへの約束」実現に向けたインプット》

1 経費に関すること		
	(1) 図書館費	R7決算 1,775,330 千円
	市民1人当たりの図書館費	2,273.12 円/人
	貸出冊数1冊・点当たりの図書館費	419.49 円/冊・点
	(2) 図書購入費(資料収集事業)	147,396 千円
	市民1人当たりの図書購入費	188.72 円/人
2 資料収集に関すること		
	(1) 資料数	2,661,231 冊・点
	市民1人当たりの資料数	3.41 冊・点/人
	一般ほか資料数	1,660,491 冊・点
	児童資料数	621,610 冊・点
	はままつ電子図書のタイトル数	19,532 冊・点
	外国語資料数	18,978 冊・点
	郷土資料数	189,113 冊・点
	視覚障がい者用資料数	16,377 冊・点
	AV資料数	51,751 冊・点
3 ソフト事業に関すること		
	(1) 一般向け講演会・講座など回数	372 回
	(2) 子供・親子向け講演会・講座など回数	382 回
	(3) 企画展事業数	226 本
	(4) 学校支援に関する講演・講座・コンクールなど回数	53 回
	(5) ブックスタート実施回数	424 回
	(6) おはなし会実施回数	853 回
	(7) ボランティア養成講座回数	86 回
4 運営に関すること		
	(1) 職員研修の実施及び派遣件数	41 件
	(2) 図書館利用促進活動の件数	18 回